

成人食物アレルギーの正確な診断と対応

研究代表者 福 富 友 馬 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター
診断・治療薬開発研究室長

研究分担者 谷 口 正 実 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 客員研究部長
関 谷 潔 史 国立病院機構相模原病院 アレルギー・呼吸器科 部長
上 出 庸 介 国立病院機構相模原病院 呼吸器内科 医長
渡 井 健 太 郎 国立病院機構相模原病院 アレルギー科 医長

研究要旨：

背景

- 1) 小児のみならず成人においても食物アレルギーは、頻度の高い疾患であるが、専門施設でもその対応が難しい。
- 2) 成人の食物アレルギーに特化した診断や対応に関する GL や有効なマニュアルは存在しない。

目的

成人食物アレルギーの臨床現場で有用な Q and A を作成し、公表する。

研究方法：

- 1) 成人食物アレルギーに関する国内外の正確かつ詳細な資料を収集する。
- 2) 成人食物アレルギー症例のモデルケースを収集する。
- 3) 成人食物アレルギーに関する診療の Q&A を作製し、公開する

研究結果

成人食物アレルギーに関する資料や文献を国内外から収集した。さらに国立病院機構相模原病院にて過去に経験された成人食物アレルギー患者の実態調査をカルテベースで行い、その結果を踏まえて「成人の食物過敏症状への対応 Q and A」を作製し、拠点施設医師向けに公開した。

考察

本 Q and A は、診療ガイドラインなどでは言及されていないが診療上重要な内容を扱い、実臨床において有用なものとする。

A. 研究目的

背景

- 1) 小児のみならず成人においても食物アレルギーは、頻度の高い疾患であるが、専門施設でもその対応が難しい。小児食物アレルギーに関してはガイドラインや診療の

手引きなどが充実しており診療の均てん化が図られているが、成人領域に関しては知見が不十分でガイドラインの作製はできていない。

- 2) 成人の食物アレルギーはその病態が、小児と異なっており、かつ、多様性に富んでお

り、そのことがそれへの対応を難しくしている。

- 3) 成人の食物アレルギーに関する診断や対応に関する GL や有効なマニュアルは存在しない目的成人食物アレルギーの臨床現場で有用な Q and A を作成し、公表する。

B. 研究方法

- 1) 成人食物アレルギーに関する国内外の正確かつ詳細な資料を収集する。
- 2) 成人食物アレルギー症例のモデルケースを収集する。
- 3) 成人食物アレルギーに関する診療の Q&A を作製し、公開する。

(倫理面への配慮)

該当する研究に関しては、国立病院機構相模原病院倫理委員会の承認のもとで研究を行った。

C. 研究結果

成人食物アレルギーに関する資料や文献を国内外から収集した。さらに国立病院機構相模原病院にて過去に経験された成人食物アレルギー患者の実態調査をカルテベースで行い、その結果を踏まえて「成人の食物過敏症状への対応 Q and A」を作製した (図)。

Q and A は相模原病院のアレルギー中心拠点病院の HP 中に掲載し、全国の拠点病院医師に限定して公開している。Q and A の具体的な内容は巻末刊行リストに記した。

図 公開された Q and A を掲載したページ

<https://sagamihara.hosp.go.jp/allergy-center/>



D. 考察

過去の症例データも踏まえ、成人食物アレルギー診療の Q and A を作製し公開した。本 Q and A は、診療ガイドラインなどでは言及されていないが診療上重要な内容を扱い、実臨床において有用なものと考えられる。

E. 結論

実臨床で有用な成人食物アレルギーに関する Q and A を作製し、公開した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし